

## 研究名：呼吸器科入院化学療法におけるレジメンチェックシート修正前後の比較検討

研究責任者： 薬剤部 職名 主任薬剤師 氏名 植木 大介

### 研究の背景・意義・目的：

がん薬物療法は予め決められた治療計画（以下レジメン）で施行されます。レジメンは抗がん剤を適切に使用する上で有用なシステムですが完璧では無いため、安全性を確保するため医師の処方後に薬剤師による内容確認が行われています。我々の先行研究でレジメンの内容確認時に確認を推奨する 19 項目を定義化することができました。今回はその 19 項目を元にしたレジメンチェックシートを作成したため、その有用性を調査する研究を行います。

### 研究の方法：

#### ・対象となる患者さん

2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日の間に呼吸器内科より入院患者さんにレジメンオーダーされた症例

#### ・研究期間 院長の研究実施に関する決定通知発行後～西暦 2026 年 3 月 31 日

#### ・利用する検体、カルテ情報

カルテ情報 レジメン名、病名、年齢、性別、併用薬、既往歴、身体所見、検査結果（血液検査、病理結果）

#### ・検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

### 研究組織：

この研究は、当院のみで実施されます。

#### ・研究代表者（研究全体の責任者）

東京病院 薬剤部 植木 大介

#### ・その他の共同研究者

薬剤部長 近藤 直樹、薬剤師 永見 恵里奈 薬剤師 白鳥 瞳

### 個人情報の取扱い：

研究を行う上で、研究対象者の個人情報が特定できないように加工し、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報は、研究代表者及び共同研究者のみがログインできるパソコン上に電子情報として保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後 5 年または研究発表後 5 年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表を予定していますが、その際にも個人情報が特定できるような形での報告は致しません。

### 研究計画書等の公表：

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当を通じてその情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。その場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

＜問い合わせ先＞ 独立行政法人国立病院機構 東京病院 薬剤部 氏名 <sup>うえき</sup>植木 <sup>だいすけ</sup>大介  
住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1 電話：042-491-2111 （代）  
独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長